

2024

ここにしかない学びを見つけよう。



教科横断探究コース

—義務教育専攻1年生のあなたへ

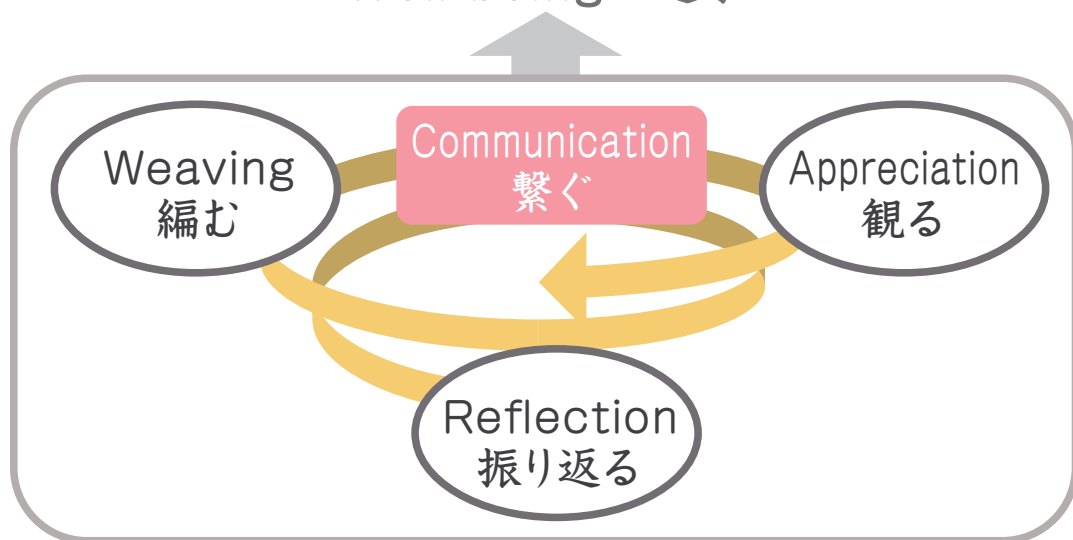
学部＋αの深い学び

このコースでは、学部と教職大学院への進学を見通し、教科や総合的な学習の時間、特別活動など教科等を横断して探究的な学びを展開します。

Vision

Well-beingの追求

教科横断探究コースでは、人やモノ、ディシプリン間のコミュニケーションを通して次のような資質・能力を発揮できる教師の育成を目指します。



Outcome

	1-2年次 子ども	3年次 教材	4年次 実践	プログラム全体を 通して目指す 資質・能力
観る Appreciation	●子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づくことができる。	●具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付けることができる。	●子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想できる。	他者や世界に共感して思いや感じ方を理解すること、自らの行動や実践を観ること。
編む Weaving	●一緒に活動することができる。 ●多様な活動に参加することができる。 ●子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想できる。	●既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、新たな教材を生み出すことができる。	●教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想できる。	課題に対する探究活動の中で、教科の学びを編み直し、新たな知識、見方・考え方、スキルを創り上げていくこと。
振り返る Reflection	●子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返ることができる。	●授業者としての思いや行為と学習者のそれらを突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返ることができる。		自己と他者、自己と社会とのつながり、自らの実践を省察すること。
	子どもを観るのではなく、子どもの側から<u>観る</u>ことができる。	教材を教科、教科横断双方の視点から<u>価値づける</u>ことができる。	「教科横断すること」の意味を自分なりに理解して学習活動を構想し、授業を<u>批評</u>できる。	

Learning Model

	1-2年次 子ども	3年次 教材	4年次 実践
観る Appreciation	○子どもの活動や遊びを共にすることを通して、感じ方や見方に気づく。 (附属学校園、県内外公立小中学校)	○具体的な教材を賞味し、他者の見方と交わる中で、教材を異なる観点から価値付ける。 (附属学校園、県内外公立小中学校)	○子どもとの対話の中から教科・単元の学習テーマを構想する。 (附属学校園、県内外公立小中学校)
編む Weaving	○一緒に活動する。 (附属学校園、県内外公立小中学校) ○子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ○「子どもの側から観る」とは？ (ゲストティーチャーから学ぶ)	○子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ○既存の教材や学習活動を試行錯誤することを通して別の価値を発見し、授業を実践する。 (附属学校園、県内外公立小中学校)	○子どもの感じ方や見方に応じた教材や遊びを構想する。 (子どもキャンパスプロジェクト) ○教科・単元の学習テーマと子どもの関心をつなぐ教材や学習活動を教科横断的な視点から構想する。 (附属学校園、県内外公立小中学校)
振り返る Reflection	○子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 (附属学校園、県内外公立小中学校)	○子どもの具体的な姿・ことばから、自らの子どもの捉え方を振り返る。 ○子どもキャンパスプロジェクトの振り返りを文章にまとめる。	○授業者としての思いや行為と学習者のそれら突き合わせながら、自ら構想した学習活動を振り返る。 (附属学校園、県内外公立小中学校)

Voice

・なぜ教科横断探究コースに入ろうと思いましたか？

教師を目指す上で、多角的に物事を捉えることができるようになりたいと考えたからです。また、大学院に進学することにも興味がありました。他専攻の学生や先生と学べる6年間の活動が魅力的でした。

・実際に教科横断探究コースでの活動を通してどのように感じていますか？

自分とは違う専攻に所属する学生や先生とのコミュニケーションの中で、新たな気づきを得られて学びが多いです。また、学外行事に参加して学生以外の立場の方との交流を通して、自分自身の考えを深められていると感じています。

・今後、教科横断探究コースでどんなことをしていきたいですか？

学生1人1人の特性を活かしながら、「学び」に対してより深く考えられる活動を行いたい。計画段階ですが、これからも多様な考えや価値観に触れること、深い学びに繋がる活動がとても楽しみです。



教科横断探究コース
第20期
園生 柚佳さん



教科横断探究コース
第20期
山田 陽菜さん

・なぜ教科横断探究コースに入ろうと思いましたか？

私は社会科の先生になる夢と、教科を絞らずに多くのことを学びたいという思いを持っていたので、このコースの存在はとてもありがたかったです。コース体験会に参加して、「自分もコースの一員としてより成長していきたい」と思い、現在に至ります。

・実際に教科横断探究コースでの活動を通してどのように感じていますか？

私はコースの活動を通して、周りの学生や先生方からたくさんの刺激をもらっています。コース生はそれぞれの好きなことに対して一生懸命で、尽きることのない探究心を持っています。そのため、一緒にいると自分も頑張ろうと思えます。尊敬できる仲間や先生方と出会えて、とても嬉しいです。

・今後、教科横断探究コースでどんなことをしていきたいですか？

学びのフィールドを学外に広げていきたいです。学ぶ場所は大学だけではないということを実際に自分の足を使って証明したいです。自ら学ぶ姿勢を大切にして、主体的に学ぼうと思います。

Check!

コース説明会

4月 9日(火) 12:30～13:00

4月16日(火) 12:30～13:00

4月23日(火) 12:30～13:00

教育人文棟2F 202

※内容はすべて同じです。

体験授業

毎週火曜日 教育人文棟2F

Q. どうしたらコースに入れますか？

A. 7月中旬に学務ネットで募集が始まります。出願期間は7月中旬～9月中旬で、9月下旬に面接を経て、合格した場合、10月中旬からコースに所属することになります。まずは、学務ネットのお知らせを見逃さないようにしてください。

Q. 教育支援専門職養成課程に所属していますが、コースに入れますか？

A. 教科横断探究コースは、学校教員養成課程義務教育専攻向けのコースのため、申し訳ありませんが、義務教育専攻所属の方以外はお願いできません。

Q. コースに入るのに費用はかかりますか？

A. コースに所属するための費用はありません。
なお、コースの活動で様々なところに行くときには、交通費等がかかります。

Q. 大学院には必ず行かないといけませんか？今はまだそこまで考えられないのですが。

A. 大学院への進学を見通した学びを行っていきませんが、進路変更をして大学院に進学しない選択をした先輩もいます。コースの活動内容に少しでも興味があれば、まずはコース説明会や体験授業にお越しください。現役のコース生の生の声を聞いて考えてみてください。



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

お問い合わせ先

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学 教務企画課教育課程係

Tel:0566-26-2164 E-mail:kyouikukatei@m.auecc.aichi-edu.ac.jp

教科横断探究コースHP

<https://www.6ikkan.aichi-edu.ac.jp>



コース公式LINE

最新情報配信中

